

**ピアニスト、チェンバロ音楽を愛する方たちのための  
チェンバロ奏法講座～レクチャー&ワークショップ～2012.7月～9月  
胡桃庵古楽道場夏の宴 vol.1～vol.4 @ ノワ・アコルデ音楽アートサロン**

チェンバロの弾き方はピアノのそれと何がちがうのだろうか。そんな疑問を持ったことはありませんか。二つは同じ鍵盤楽器だけれども、チェンバロのほうは弾けるようで何がちがう、どのように扱えばいいか今一つ自信がない、でもバツハをチェンバロで弾いてみたい、と考える方は多いのではないのでしょうか。

最近では歴史的な楽器やその演奏法に注目が集まり、歴史的ピアノやチェンバロのひびきを楽しむコンサートなどの機会も増えています。しかしチェンバロは、鍵盤楽器であるピアノの奏者やその他の楽器奏者にとっては、勉強する機会もいまだ少なく、その楽器や奏法については未知の部分が多いと言えます。

この講座のシリーズでは全4回にわたり、17～18世紀のチェンバロ音楽の演奏について、その理論と実践をレクチャー&ワークショップ形式で行います。各回においては、実際に楽器を弾きながら、ときにピアノでの奏法と比較しながら、チェンバロという楽器について、アーティキュレーションの方法、イネガル奏法、指遣い、装飾音奏法などの歴史的意味を知り、それらの奏法や調律法を各自が身につけていくことを目的としています。ピアノとチェンバロでは、同じ鍵盤楽器であっても、楽器内部のアクションの違い、また演奏されていた時代の違いなどから、奏法やその記譜法が異なります。そして実際に音にするまでには、いくつかの「操作」や「工夫」が必要になるのです。それをどのように解決していくのか、ピアノでの演奏アプローチとはどのように違うのかを、実際にチェンバロで奏法を試しながら、そして当時の理論書もひも解きながら、勉強していきましょう。

三島 郁

**三島 郁 MISHIMA Kaoru (音楽学、チェンバロ)**

東京学芸大学大学院修士課程修了後、ケルン大学に留学、大阪大学大学院文学研究科で音楽学専攻、博士課程修了。博士(文学)。専門は 17～18 世紀の鍵盤楽器音楽の作曲論、演奏論。チェンバロを亀谷喜久子氏に師事。Ch. ファー、K. フェルヘルスト、S. ヘンストラ各氏らのレッスンを受ける。京都市立芸術大学、同志社女子大学、甲南女子大学、神戸山手女子高等学校、各非常勤講師。



●<参加申込書> チェンバロ奏法講座 2012.7月～9月@ノワ・アコルデ音楽アートサロン

<p>●&lt;お申し込み要項&gt;</p> <p>■下記の必要事項をご記入の上、FAX または郵送にてお申し込みください。</p> <p>■FAX の場合 06-6868-0595 <span style="float: right;">■お問い合わせ TEL. 06-6862-8855</span></p> <p>■郵送の場合 〒561-0852 大阪府豊中市服部本町1-8-20(ノワ・アコルデ事務所) (サロン所在地は表に記載)</p> <p>■お支払いはお申し込み後、別途ご案内いたします。前納でお願いいたします。キャンセルはできません。</p> <p>■参加ご希望の講座に○印をおつけください。※印は必ずご記入ください。</p> <p>※この講座とワークショップは、1講座3名以上であれば開講いたします。3名に満たない講座は、開講できない場合もあります。</p> <p>■各講座時間帯は表面参照ください。講座によって曜日、時間帯が異なりますので、ご注意ください。</p>					
講座 ※	第 1～4 回全講座 (♯切 7/8)	第 1 回 7/15 (日) (♯切 7/8)	第 2 回 8/4 (土) (♯切 7/27)	第 3 回 9/2 (日) (♯切 8/24)	第 4 回 9/22 (土) (♯切 9/14)
○印 ※					
お名前※			Email (PC) (携帯)		
ご住所※ 〒					
Tel※			Fax		
<p>いずれかに○を付けてください。※ 複数可</p> <p>ピアノ奏者 ( ) ピアノ教師 ( ) 音楽科の大学生 ( ) 音楽科の大学院生 ( )</p> <p>趣味でピアノを弾いている方 ( ) これからチェンバロを弾いてみたい方 ( )</p> <p>その他の楽器奏者 ( ) 古楽の愛好家 ( ) その他 ( )</p>					